

市議会モニター意見等

No.	項目	ご意見等	広報広聴委員会における検討状況
1	⑥市議会モニター会議に出席して	<p>本日、第1回のモニター会議が開催、錚々たるメンバーをご紹介いただき、私などまだまだ勉強不足の感を強く持った次第。町内会としては、地域住民の意見・要望事項に関しましては、市議会議長、副議長に要望書を提出するという事は念頭がなく、手っ取り早く市長、副市長に直接お願いに上がっているのが現状。</p> <p>本日の会議で、市議会はあくまでも議決機関であり、執行機関ではないという事を改めて再認識。議員の皆様は、日々、身を粉にして政治活動に邁進しておられる事で御座いましょう。一方、各会派に籍を置く先生方は、採決の際、ご自身の考えとは多少違っていても、党利、党略を最優先にお考えになる、これはごくごく自然な流れ。</p> <p>今後とも我々、住民自治組織の提言、要望事項は「何処の、誰に」行けばよりスムーズに話が進むのかを、よく考えていきたいものです。</p> <p>議長、副議長にも気軽にお話が出来るようになれば良いと思います。</p>	<p>・市議会モニター会議に出席してのご感想をお寄せいただきありがとうございます。</p> <p>市議会モニター制度は、今年度からの取り組みということもあり、広報広聴委員会としても手探りのところもございましたが、モニターの皆様から様々なご意見をいただき、広報広聴委員を交えて活発に意見交換が行われ、有意義なモニター会議となりました。</p> <p>今後も、本会議の傍聴等をしていただき、市議会の運営等に関し率直なご意見をいただければ幸いです。</p>
2	①本会議に関して (6月定例会)	<p>議会初日ということもあってか、緊張感もあって、整然とした感じを受けました。</p> <p>発言議員を番号で呼ぶことに、やや違和感を受けました。氏名で呼んだ方が良いのでは？</p> <p>質問の中には、なるほどと思う提案があったものの、再質問がないために議論の深まりがなく、総括質問の場合も一般質問並みに再質問があった方が、より建設的で内容のある議論が出来るのではないかと思います。</p> <p>質問時間に比べ、答弁の時間が長く、もったいないと強く感じました。改善の余地があるのではないのでしょうか？</p> <p>傍聴者への資料配布は助かりました。 市議の皆さんには提案説明資料が配布されていたようですが、傍聴者にもその要約版があればと思いました。情勢部分の説明が難しかったので。</p>	<p>・本会議を傍聴してのご意見をお寄せいただきありがとうございます。</p> <p>・この内容を議会運営委員会に伝えます。 ・発言の許可の際は、慣例により議席番号と氏名を呼称しておりますが、貴重なご意見として、今後の参考とさせていただきます。(以前、傍聴アンケートでも同様の意見をいただいたことがございます。)</p> <p>・この内容を議会運営委員会に伝えます。 ・総括質問に関しては、慣例的に再質問をしない議員が多いことは事実ですが、もとより再質問は、通告した質問に対する当局の答弁が不十分、あるいはさらに疑義が生じた場合に許されるものであり、各議員が疑問をはらすためとはいえ、際限なく質問を繰り返す、または通告をしていない内容を2回目、3回目と再質問することは許されていないことをご理解いただきたいと思います。 なお、質問者によっては、再質問をすることもあり、総括質問において、再質問を制限しているものではありません。</p> <p>・この内容を議会改革特別委員会に伝えます。 ・当局としては、答弁漏れがないように、また、丁寧に答えなければならないとの思いもあり、答弁時間が長くなってしまふものと推察されますが、傍聴アンケートでも「答弁が長い」「答弁が長すぎて分からない」といったご意見をいただいておりますので、こうしたご意見を当局に伝えます。</p> <p>・本市の場合、上程された議案は、予算議案は予算特別委員会(分科会)に、条例・事件案件等は、所管の常任委員会に付託して審査されること、あわせて議案書・予算書は相当のページ数になることから、傍聴者の方には、質問順序表(質問者・項目を記載)、議案一覧等の配布とさせていただきます。 「市長の提案説明」、「議案要旨」、「議案書(予算書を含む。)」等は、傍聴者に配付いたしてはおりませんが、ご意見のとおり、議会初日(総括質問)の傍聴者の方には、市長の提案説明、議案要旨を配付(又は閲覧用を備え付け)すれば、さらに理解が深まることと存じますので、こういったことが可能か当局(議案書等の作成は総務課・財政課が行っております。)と調整を図ってまいります。</p>

市議会モニター意見等

3	①本会議に関して (6月定例会)	<p>一般質問を傍聴しました。午後の一般質問には、休憩があるということですが、午前中2時間の場合でも、6月議会開会から数日が経過していることから考えると、出席議員の緊張感の継続は大変と感じました。</p> <p>傍聴者にとっても2時間は、決して楽ではありませんでした。更に一般質問が続くと考えると、気分転換の創意工夫があっても良いと思いましたが、いかがなものでしょうか？</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・本会議を傍聴してのご意見をお寄せいただきありがとうございます。この内容を議会運営委員会に伝えます。
		<p>総括質問と異なり、一般質問は具体的な事業に対する質問があつて、質問の趣旨が理解出来ました。しかし、それに対する各部長の答弁は原稿の読み上げが中心で、心に響くものがありませんでした。一問一答ならば原稿なしでの、ガチンコ対決でもいいのではないのでしょうか？</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・この内容を議会改革特別委員会に伝えます。 ・一般質問における質問方式は、平成27年6月定例会から従前の「一括質問一括答弁方式」と一つの質問ごとに答弁するという「一問一答方式」、いずれかの選択制としております。 <p>一般的に一問一答方式は、「やりとりがわかりやすい」、「論点・争点を明確にすることができる」等のメリットがある一方で、質問が微に入り細にわたり過ぎると、「単に数値等の確認のやりとりが続く」、「質問時間が長くなる」等のデメリットもあると言われております。</p> <p>また、ご意見のありました、いわゆる「ガチンコ（質問要旨の事前通告なし）」の場合、「丁々発止、筋書きのない活発な議論が交わされる」といったメリットも考えられますが、まったく想定していない質問や資料を準備していない質問に対して、「当局が明確に答弁することができない」、「答弁調整等のために暫時休憩が必要となり会議が間延びする」等のデメリットも想定されることから、本市議会では、いずれの質問方式の場合も質問要旨の事前通告を原則としておりますので、ご理解いただきたいと存じます。</p> <p>しかしながら、当局の答弁に関しては、傍聴アンケートでも「伝え方を改善してほしい」「棒読みで何も伝わってこない」「答弁が長くわからない」といったご意見をいただいておりますので、こうしたご意見を当局に伝えます。</p> <p>一問一答方式と一括方式、それぞれの質問方法の特徴を生かしながら、できるだけ皆さんにわかりやすく、伝わりやすい形式を今後も検討していきます。</p>
		<p>橋梁の点検結果は要注意が14%、50件あるということに、高度成長時代を生きてきた世代としては衝撃を受けました。政策が実現しても、その後に難しい問題が発生すると痛感しました。</p> <p>総括質問よりも討論がかみ合っているとは感じましたが、市当局の説明に対しての質問者の切り込みが不十分に思えました。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・この内容を各議員に伝えます。 ・この内容を各議員に伝えます。
4	①本会議に関して (6月定例会)	<p>今定例会の一般質問については、地元選出の議員が地元住民にとって非常に関心のある日沿道県境区間IC周辺の土地利用基本計画、また、橋梁修繕など取りあげて質問を行い、大変興味深く聞き入った次第です。</p> <p>とりわけ橋梁修繕については、自治会に直結する課題となっている、橋の架け替えの問題について、歩道の整備、川の浚渫、迂回路、内水面漁協まで、地元住民の要望している声を代弁するような具体的な提案をしていただき、非常に感じ入った次第です。大変勉強になりました。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・一般質問を傍聴してのご意見をお寄せいただきありがとうございます。この内容を各議員に伝えます。
5	④市議会ホームページに関して	<p>録画データで傍聴させていただきました。</p> <p>一般質問について、議員ごとのデータになっていて、見やすいと思います。希望を申しますと、議員の質問については、文字データで読みながら、答弁について倍速で画像を見られると時間短縮になって、ありがたいです。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・インターネット録画中継をご視聴いただいてのご意見をお寄せいただきありがとうございます。議会中継システムは、今年度中のシステム更新を予定しております。更新にあたっては、予算との兼ね合いもありますが、視聴者の立場に立った見やすい機能をできるだけ取り入れていきたいと考えております。

市議会モニター意見等

6	①本会議に関して	<p>直接傍聴、KCT（ケーブルTV）での状況を拝聴させていただいて感じた事ですが、一般質問で、質問者と当局が質問・答弁を繰り返している間、他の会派又は自分に関係なさそうな時に寝ているように見える議員が見受けられた。何か対処はないのかと思った。</p>	<p>・一般質問を傍聴してのご意見をお寄せいただきありがとうございます。この内容を各議員に伝えます。</p>
		<p>質問者の意図、主旨で何を言いたいのか解りづらかった。解る人だけ解ればいいのかと思われやすい。</p>	<p>・この内容を各議員に伝えます。</p>
7	③つるおか市議会だよりに関して (6月定例会号)	<p>「全体」としては、写真も多く、文章もよく考えられており、良い出来栄と感じました。</p>	<p>・市議会だよりをご覧になってのご意見をお寄せいただきありがとうございます。この内容を各議員に伝えます。</p>
		<p>2ページ下段の「市長提出議案と審議結果」の表には、了承の文字がなく、本会議において了承の記載があっても良いのではないのでしょうか。(上段には了承の記載あるが表にはない)</p>	<p>・各予算繰越計算書の議会への報告は、地方自治法に基づくもので、委員会への付託・審査、本会議での審議がないため、これまで審議結果の欄には特段の記載をしておりませんでした。ご意見のとおり、何らかの記載があった方が分かりやすいと存じますので、広報広聴委員会で検討します。</p>
		<p>8ページの「討論」欄には、賛否をそれぞれ枠で囲んだほうが、より理解し易くなるのではないのでしょうか。</p>	<p>・広報広聴委員会で検討します。</p>
		<p>9ページから15ページ上段までの「一般質問」は、まとまった内容になっていますが、この中に『伺う』が19箇所、『伺いたい』が1箇所使われています。議会と市執行部は車の両輪の関係＝対等の関係であると認識していましたので、『伺う』という言葉には謙讓感が強いように思います。 『お聞きしたい』『聞きたい』或いは文章の最後を『〇〇は』などに短縮してあらかず方法を使ってはいかがでしょうか。</p>	<p>・総括・一般質問に係る議員質問・答弁のページは、議員本人が原稿を執筆しています。議員の執筆原稿は、議会事務局で会議録と照合し、誤字脱字、数値の誤り等の確認を行い、さらに答弁した部長等が自身の答弁と違う記述がないか等を確認のうえ掲載しておりますが、基本的に議員の執筆原稿を尊重して掲載しております。しかしながら、ご意見にありましておとり文末表現等は、統一感があっても良いと思えますし、「～を聞く」「～と思うがどうか」又は「～は」等、質問主旨が変わらない範囲で質問文末の修文は可能かと思えますので、広報広聴委員会で検討してまいります。</p>
8	④市議会ホームページに関して ⑥その他	<p>最初のトップページをもう少し整理、見やすい、さがしやすいページに変更した方が良い。</p>	<p>・ホームページをご覧になってのご意見をお寄せいただきありがとうございます。他市のホームページも参考にしながら、広報広聴委員会で検討します。</p>
		<p>市議会ホームページにも新着情報の項目があると良い。</p>	<p>・更新情報については、必要に応じて、市ホームページのトップページの「新着情報」に表示しておりますが、市議会のトップページにも「新着情報」を表示することはできるようですので、トップページの構成も含めて、広報広聴委員会で検討します。</p>
		<p>スマホ・タブレットで録画データを視聴できるように早急に改善した方がよい。</p>	<p>・議会中継システムについては、今年度中のシステム更新を予定しております。更新にあたっては、スマホ・タブレットからの視聴も含め、視聴者の立場に立った見やすい機能をできるだけ取り入れていきたいと考えております。</p>
		<p>市議会だよりの紙媒体とホームページとの融合を図る。</p>	<p>・ご意見を伺い先進他市の市議会だよりを検索したところ、一般質問の見出し・顔写真の脇にQRコードを印刷し、そのコードをスマホ・タブレットで読み込むと当該質問の映像データが見られるようになっている市議会だよりがございました。今年度中に行う予定の議会中継システムの更新にあわせて、今後このようなことが可能か広報広聴委員会で検討します。</p>
		<p>定例会の質問内容のお知らせを事前に告知していますが質問事項の内容があまりにも簡単です。もう少し具体的にできないのでしょうか。また、市役所正面玄関に設置してありますが、もう少し市民の目を引くような設置の工夫が必要だと思えます。例えば、告知看板の設置とか。</p>	<p>・この内容を各議員に伝えます。現在、質問内容の告知は、各議員から当局への発言通告書の質問事項（大・小項目）をそのまま掲載しておりますが、市議会への関心を高めるためにも、市民を意識した発言通告の検討は必要と考えますので、貴重なご意見として今後の参考とさせていただきます。また、市民ロビー等での掲示方法の改善・工夫については、広報広聴委員会で検討します。</p>

市議会モニター意見等

9	③つるおか市議会だよりに関して (6月定例会号)	①良い点 写真を一般の方より募集し目を引く表紙になっている。 定例会のポイントを初めに記載しわかりやすく伝えている。	・市議会だよりをご覧になってのご意見をお寄せいただきありがとうございます。表紙写真は公募のものではありませんが、今後とも多くの市民の方に手に取っていただけるような表紙写真を撮影したいと考えております。
		②改善した方が良いと思われる点 紙面のレイアウトが、縦書き横書きが混在し少し読みづらい。見開き 2 ページすべてが縦書き、横書きであれば読みやすい気がする。	・縦・横書きの混在は気になる場所だと思います。今後は、なるべく混在しないように注意しながら市議会だよりの編集に努めます。
		1 ページの段組み、1 行の文字数が様々で読みづらい。なるべく統一した方が 良い。 総括質問・一般質問がページの都合上仕方がないと思うが、質問に対する議員一人一人の思いが伝わってこない。例えば議員の顔写真をスマホのアプリで撮影すると議員一人一人の映像が見られれば議員の思いが伝わってくるように思われる。	・ページの段組みについては、4 段を基本としておりますが、一般質問は質問者も多いため、契約ページ数との兼ね合いもあり、やむなく 5 段組みとしておりますのでご理解くださるようお願いいたします。 文字数については、4 段組み 15 文字、5 段組み 14 文字を基本としておりますが裏表紙や横書きの囲み記事等は、特に統一しておりませんので、今後統一感ができるように工夫していきます。 ・この内容を各議員に伝えます。 ・市議会だよりに QR コードを印刷し、そのコードをスマホ・タブレットで読み込むと当該質問の映像データが見られるようになっている市議会だよりがございましたので、今年度中に行う議会中継システムの更新にあわせて、今後このようなことが可能か広報広聴委員会で検討します。
10	④市議会ホームページに関して	ホームページは全体としてわかりやすく、個別の項目構成も良く設定されていると感じました。	・ホームページをご覧になってのご意見をお寄せいただきありがとうございます。
		市民と議員をつなぐ有効な手段として活用されていると思いますが、合併により広大な市域になったことから、議員の居住地が住所を見ただけでは分からないため、親近感がないように思います。 例えば、佐藤文一議長長の住所である越中山がどこなの分からなかったもので、市民便利帳を見てみましたが、旧大字のある地図はありませんでした。住所に組み込まれている羽黒地域を除いては、旧大字表示だけではなかなか分からないと思いますので、何か良い方法がないものかと感じました。	・他市のホームページも参考にしながら、広報広聴委員会で検討します。
11	① 本会議に関して (9月定例会)	総括質問を中継でモニターしました。 前回議会と同様に、質問者も回答者も原稿の読み上げで、形式的な印象が強く、また、再質問もないため、実のある質問も議論が深まらないと感じました。文書のやりとりで足りるような印象でした。	・この内容を議会改革特別委員会に伝えます。
		委員会への付託を省略し、本会議で審議する議案（議 73 から議 76）は、全会一致の議案と考えられます。 質疑を許します、質疑を終結します。反対討論を許します。賛成討論を許します。これで討論を終結します。 議長が以上のような発言・進行をしました。議会運営で定められているものと推察しますが、簡素化が出来ないものかと感じました。	・本会議を傍聴してのご意見をお寄せいただきありがとうございます。この内容を議会運営委員会に伝えます。
		定例会提出議案がホームページにアップされていたため、参考資料として活用できました。	・ホームページをご覧になってのご意見をお寄せいただきありがとうございます。この内容を各議員に伝えます。

市議会モニター意見等

12	① 本会議に関して (9月定例会)	<p>一般質問の中継を視聴しましたが、一般質問が具体的な事項のためか、原稿読み上げの答弁が多く、少し気になりました。議会側の問題ではないと思いますが、活発な議論を展開することの難しさを感じました。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・この内容を各議員に伝えます。 ・当局としては、答弁漏れがないように、また、丁寧に答えなければならないの思いもあるためと推察されますが、傍聴アンケートでも「答弁が長い」「答弁が長すぎて分からない」といったご意見をいただいておりますので、こうしたご意見を当局に伝えます。
13	① 本会議に関して (9月定例会)	<p>人口減少が進行するもとの、持続可能な行政や施策、地域づくりのあり方の質問は、町内会活動に携わる者にとって、とても関心のある事項でした。 全ての町内会とはいませんが、高齢化や少子化の影響を強く受けている町内会が、確実に増えていると実感しています。現在の町内会にとって「自分の命を自分で守ることが出来ない人」をどう支援していくかが最大の課題です。</p> <p>中継の視聴は、質疑の当事者とその周辺に限られるため、議場全体の雰囲気伝わらないものの、集中できる利点はありました。 関心の薄い質問もあるので、長時間の視聴は無理でした。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・本会議を傍聴してのご意見をお寄せいただきありがとうございます。この内容を各議員に伝えます。 ・インターネット録画中継をご視聴いただいておりますのご意見をお寄せいただきありがとうございます。今後とも、視聴者の立場に立った見やすい構成を検討していきたいと考えております。
14	① 本会議に関して (9月定例会)	<p>総括質問について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一問一答形式に変更した方が聞いて理解し易いような気がする。 ・長い原稿を読み上げるだけであればプリントを配るだけで良いのではないか。例えばボードなどを使いもう少し視覚に訴えたらと思う。 ・また、各党派で同じ質問が多くあります。質問をうまく調整し一つにできないでしょうか。答えを小出しにしているようで理解し難いです。 <p>一般質問について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一問一答形式を採用する議員の方が増えてきたおかげで、とても聞き理解しやすい。また、多少動きがあり見ている方も飽きないと思います。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本会議を傍聴してのご意見をお寄せいただきありがとうございます。この内容を議会運営委員会に伝えます。
15	⑤ 議会改革・活性化 に関して	<ul style="list-style-type: none"> ・全国で行っている議場での話題作りを積極的にする。 日本遺産としてシルクと出羽三山が認定されました。ぜひ話題作りの為に議場にいる全ての方がシルクの衣装で議会に参加するとか、議場開始ブザーを法螺貝にするとか考えてみたら良いと思います。 ・議員の方々が色々調べ質問や意見し、関係部署の方々が答えています。その質問や意見のその後があまり見えてこないのが現状だと思います。 各議員がそれぞれの市政報告書で報告しているとは思いますが、市民全員が共有しているとは思いません。質問や意見によっては、結論まで時間を要する事があるとは思いますが市民全体がその後を知る方法を考えたらもっと市民が関心を持つのではないのでしょうか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・この内容を議会改革特別委員会に伝えます。 ・他市では、議会だよりに一般質問の「その後」を追った記事を掲載したり、議会で市政報告会を開催したりといった先進事例がありますので、それらを参考にしながら広報広聴委員会で検討します。 今後も、本会議の傍聴等をしていただき、市議会の運営等に関し率直なご意見をいただければ幸いです。 <p>【議会改革特別委員会からの回答】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鶴岡の魅力を発信することについては、議会としても重要な課題と捉えており、必要性は十分認識しております。 鶴岡の魅力は、ご提案いただきましたシルクや出羽三山に限らず様々な分野がありますことから、慎重に検討を重ねていかなければならないと考えます。 どのような形でのPRが可能か、引き続き検討してまいります。
16	⑤ 議会改革・活性化 に関して	<ul style="list-style-type: none"> ・総括質問について 質問者も答弁者も原稿の読み上げが多いうえ、再質問もないため議論の深まりがなく、セレモニー的な印象を強く受けました。国会における質問主意書のように、質問書と回答書のやりとりで良いのではないかと感じました。 議論がかみ合うように再質問を設ける等、制度を変える必要があるのではないのでしょうか。 ・全会一致で議決可能な議案については、委員会付託を省略するだけでなく、 	<ul style="list-style-type: none"> ・本会議を傍聴してのご意見をお寄せいただきありがとうございます。 ・総括質問において再質問を制限するものではありませんが、慣例的に再質問をしない議員が多い状況です。先進他市に、議員が市の一般事務について、閉会中に文書により質問できる「文書質問」という制度がありますので、それらを参考にしながら検討します。 ・この内容を議会改革特別委員会に伝えます。

市議会モニター意見等

		<p>質疑と討論も省略し、直ちに採決しても良いのではないのでしょうか？ ただし、議案に対する各会派や無会派議員の賛否が確認できる仕組みが必要かと思えます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・議員定数について ・県内各市の議員定数は、山形市 33、酒田市 28、米沢市 24、新庄市 18、天童市 22 となっています。東北一行政区域が広い鶴岡市でありますので、議員定数のあり方を市民各層から充分意見を聞いたうえで、現行 32 名の定数はある程度削減すべきと考えます。 	
17	① 本会議に関して (11月臨時会)	<ul style="list-style-type: none"> ・選挙後、初議会のため、新人議員の緊張感が良く伝わってきました。 ・議会初日に正副議長や常任委員会正副委員長等が選出されましたが、この件に関連して最近の出来事として、総選挙後の衆議院では、議長は与党、副議長は第二会派から選出されたことが報道されています。 鶴岡市議会では今回選挙前まで常任委員会等の正副委員長は全会派からの選出が、今議会では2つの会派からだけの選出になりました。市議会の運営は会派や議員の協力によって進めるのが、より良い方法と考えますが如何でしょうか？(議会の改革は少数意見の尊重と議員個人の日常的な努力が不可欠と感じました。臨時会全日程を傍聴しての感想です。) ・8日の人事案件への議事進行3件は、議会運営のあり方と議員活動に関わる問題と受け止めました。 会派は2名からという取り決めは、これまで一定の役割を果たしてきたとは思いますが、議員活動や権能を制限する発想ではなく、議会運営を円滑に進めるための一つの方策と考えられますので、前向きの議論を進める必要があるのではないのでしょうか？ 	<ul style="list-style-type: none"> ・この内容を議会運営委員会及び各議員に伝えます。 今後も、本会議の傍聴等をしていただき、市議会の運営等に関し率直なご意見をいただければ幸いです。
		<ul style="list-style-type: none"> ・他市では予算・決算が議会への提示段階で早めに、公表(ホームページ等)されているようです。鶴岡市の場合は翌月広報の予算・決算特集号で公表されていますが、これは市議会で議決前という事情によってホームページでの公表が控えられているのでしょうか。それとも市の自主的な対応なのでしょう？(他市と比較してみた疑問です。) 	<p>「全国自治体議会の運営に関する実態調査 2016」の結果によると、来庁等により印刷物のみで閲覧ができたり、さらに議会のホームページからも閲覧できたり、あるいは公開していないため市民は閲覧できないなど、対応は様々になっているようです。 この内容を議会改革特別委員会に伝えます。</p>
18	① 本会議に関して (12月定例会)	<p>議員提出議案・市長提出議案のなかで、議第111号 鶴岡市一般職の給与に関する条例等の一部改正について本会議を傍聴しました。</p> <p>市長と市議会との意見の相違は感じていましたが、議会での議員の審議については、賛成や反対等の意見の相違は、議会運営のなかでは正常な発言であります。新文化会館建設は、当初45億円設計で入札して建築に入ったが、さまざまな環境の変化で、当初予算の約2倍の97億円に膨れあがったが、経過と市民への情報報告の共有が少なかつた事が、市民感情の不信感として表れました。しかし、市長や前市長の責任を追及して、議会で賛成して承認し事業執行に対応した議員は反省もなく、責任の報告もありません。</p> <p>市長の行政責任の期間について議案での紛糾について、市民の価値観や感情と、あまりに掛け離れた議会でありました。理念や思想を市民に語り合える</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・本会議を傍聴してのご意見をお寄せいただきありがとうございます。 この内容を各議員に伝えます。

市議会モニター意見等

		議員への成長を切望する。又、議会の質問者への罵声が多くあり、議員の品位を疑いました。鶴岡市民は謙虚な人間性に懐いています、市民への「安心・安全」への緊急対応の予算執行に目を向けて下さい。	
19	① 本会議に関して (12月定例会)	12月定例会一般質問を傍聴しました。限られた時間でありましたが、職務の関係でコミュニティの関連にあたる質問事項について傍聴しました。質問者も最近のコミュニティの抱える問題等を中心に質問をしておりました。答弁者も質問事項に的確に答弁しており、有意義な傍聴でありました。	・本会議を傍聴してのご意見をお寄せいただきありがとうございます。 この内容を各議員に伝えます。
20	③市議会だよりに関して	市議会だよりの件について、議会の取り組み等の説明には必要と思われるが、多くの議員の発言がきめこまやかに記載されていますが、興味とか関心あることは見るが、ちょっと長い感じをしております。議員と答弁のつながりがわかりにくい、配色とか考えてほしい。	・市議会だよりをご覧になってのご意見をお寄せいただきありがとうございます。 この内容を各議員に伝えます。 他市の議会広報も参考にしながら、今後とも、読者の立場に立った見やすい紙面構成を、広報広聴委員会で検討していきたいと考えております。
21	① 本会議に関して (12月定例会)	12月5日の定例会を傍聴しました。 ・新市長と新議員の初の定例会なので、緊張感溢れる論議を期待して傍聴しました。議員を選んだのが民意なら、市長を選んだのも民意ですから、互いの立場を認め合った上での論議であってほしいと思っていました。期待どおりでした。 ・県の中高一貫校計画は、単純な問題ではないと感じました。特に、子どもの進路選択の道が狭まるのではないかという意見は理解出来ました。慎重な対応が必要と感じました。 ・学区再編の問題は初めて知りました。1つの小学校から3つの中学校への進学は、子ども達の側から考えると友達が3分割されることから、少なからず影響があると考えられ、出来るだけ避けた方が良くと思いました。	・本会議を傍聴してのご意見をお寄せいただきありがとうございます。 この内容を各議員に伝えます。
		・議会では、広範な市民生活の問題を議論しているということ、市民に知ってもらうためには、広報広聴を一層充実することが大切と感じました。	・この内容を広報広聴委員会に伝えます。
22	① 本会議に関して (3月定例会)	3月議会定例会を傍聴しました。 豪雪のために、6年ぶりに豪雪対策本部を設置しました、行政の取り組みについて関心がありました。豪雪による被害や市民への対応についてと、対策について説明を受けて、概ね理解を致しました。	・本会議を傍聴してのご意見をお寄せいただきありがとうございます。 この内容を各議員に伝えます。
		地域まちづくり未来基金について、市長の提案説明の中で、東北一広い面積の広域合併地域で、合併地域市民への公平なる市民サービスの提供は、合併そのものの位置として、新たな価値観と建設的な方向性に期待を致します。 50億円の積み立てには、毎年の剰余金による方式の説明でありましたが、不確定な要素もあり、責任のある説明をお願い致します。	・この内容を各議員に伝えます。 今後も、本会議の傍聴等をしていただき、市議会の運営等に関し率直なご意見をいただければ幸いです。

※ 項目

- ① 本会議に関して
- ② 委員会に関して
- ③ つるおか市議会だよりに関して
- ④ 市議会ホームページに関して
- ⑤ 議会改革・活性化に関して
- ⑥ その他